

マツモト ハルカ		
松元 悠		
学 歴 及 び 学 位		
2011年3月	京都府立城南菱創高等学校 普通科 卒業	
2015年3月	京都精華大学芸術学部 メディア造形学科 版画コース 卒業	
2018年3月	京都市立芸術大学大学院 美術研究科 修士課程 修了	
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等		
現 在 の 職 務 の 状 況		
職名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
任期制助手	地域実践領域	領域運営 予算管理 授業補助 広報(領域広報誌、WEB サイト、SNS等)

教 育 研 究 業 績

研究分野	研究内容のキーワード
絵画研究	リトグラフ、版画、ルポルタージュ、産業、マス・メディア

事 項	年 月 日	概 要
(教育方法の実践例) ・ワークショップ開発 「地元ワッペンを作ろう！」	2019年4月	<p>「地元ワッペンを作ろう！」 自分のルーツである「地元」に興味関心を持ち、その魅力について話し合い、オリジナルワッペンを作成するワークショップ。</p> <p>地元とは？＝小さな頃に暮らした思い出のある地域や、現在住んでいるエリア</p> <p>【①話す】2人1組になり、ワークシートに沿ってお互いの地元について話す。自分では近すぎて気付きにくい地元の事柄も、言葉にして相手に伝えること、相手からのリアクションから、魅力の発見に繋がる。地元のキーワードを2～3個ずつ挙げる。</p> <p>【②調べる】インターネットの検索エンジンを利用し、特産品やお土産、名所、史跡、料理、キャラクター等をピックアップして、ワッペンにするモチーフを決定する。</p> <p>【③選ぶ】布切れや手芸用品からモチーフにあう素材を選び出す。色味や素材などはモチーフに寄り添う必要はなく、自分の思う地元のイメージから自由に作成する。</p> <p>【④名付ける・発表する】出来上がった地元ワッペンを参加者全員に向けて紹介する。ワッペンのタイトル、地元の説明、こだわりポイントなど。</p> <p>・インプットからアウトプットまでの過程を学ぶ。(発見→リサーチ→素材選び→作成→発表)</p> <p>・対話によって新たな観点から魅力発見をすることができる。</p> <p>・モチーフの特徴を理解し、限られた条件の中から造形できる力を身につける。</p> <p>実施詳細 成安造形大学オープンキャンパス (2019/04/26、6/2) 参加数：18名 大阪府北摂区高大連携 (2019/11/3) 定員：15名 MIHO 美学院連携授業</p>

		(2020,3 新型コロナウイルス感染症の影響で中止)
(作成した教科書、教材)		

(教育上の能力に関する大学等の評価)		
(教育上の実務経験を有する者についての特記事項)		
(教育に関するその他事項) <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師 ・特別講師 ・トークイベント企画 ・ワークショップ 	<p>2019年4月～現在 京都市立芸術大学 美術 実技講師</p> <p>2019年6月 女子美術大学 洋画専攻版画コース アーティストトーク</p> <p>2019年11月 表題「ヴィジュアルコミュニケーションとリトグラフ」Stone Letter Project#3 関連企画。安井海洋（高浜市やきものの里かわら美術館学芸員）との対談形式で京都場にてトークイベントを企画、登壇。</p> <p>2021年5月3,4,5日 「現代版疱瘡絵をつくろう！」 「新型コロナウイルスに関するニュース」と「近代以前の仏教版画・疱瘡絵に関する文献や資料」を探りながら構想を練り、キッチンリト</p>	

			グラフを用いて自分だけの「現代版疱瘡絵」を作成する。 参加数：10名 会場：プライベート	
(職務上の実務経験を有する者についての特記事項)				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文)				
(研究業績に関するその他事項)				
作家活動内容		展覧会場		
個展				
松元 悠 展		2015年3月16日～3月21日	0 ギャラリーeyes (大阪)	展覧会テーマ〈マス・メディアからの情報を絵画にする〉リトグラフ作品、水彩画を発表。
マル秘と鶏		2017年7月29日～8月9日	SUNABA ギャラリー (大阪)	展覧会テーマ〈変化する土地柄〉展覧会開催地の文化作品(映画)を題材にしたリトグラフ作品、水彩画、映像を発表。
松元 悠 カオラマ		2018年12月13日～2019年1月6日	京都芸術センター 北館・南館	展覧会テーマ〈顔〉京都芸術センター演劇計画II-戯曲創作-「S/F - 到来しない未来」関連企画。リトグラフ作品、パフォーマンス映像+写真、戯曲テキストを発表。
血石と蜘蛛		2019年1月19日～2月24日	YEBISU ART LABO (愛知)	展覧会テーマ〈一つの実話から重複する声〉リトグラフ作品、インタビュー映像、作品素材写真などを発表した。
活蟹に蓋		2019年3月19日～4月14日	三菱一号館美術館 (東京)	展覧会テーマ〈消費と共感〉マスメディアが報じる事件の当事者の追体験、再構築を試みたリトグラフ作品群を発表。
独活の因縁 The Fate of an Udo		2020年6月29日～7月8日	Medel Gallery Shu (東京)	展覧会テーマ〈当事者不在の語り〉「事件の周縁を歩く」と称し、作者が作品の題材となった現場に訪れ収集した素材から構成したリトグラフ作品群を発表。
架空の竜にのって海をこえて幻の島へ		2021年1月31日～2月7日	kara-S ギャラリー (京都)	展覧会テーマ〈作品が続く。距離、立場、時代が変わること〉作者が修了制作展で発表した作品群を、過去と違った意味を持たせて再度(3年後)行った展覧会。

<p>主なグループ展</p>				
<p>第 82 回日本版画協会展</p>		<p>2014 年 10 月 5 日～10 月 19 日</p>	<p>東京都美術館</p>	
<p>第 9 回高知国際版画トリエンナーレ</p>		<p>2014 年 10 月 11 日～11 月 30 日</p>	<p>いの町紙の博物館</p>	
<p>Lighter but Heavier 重くも あり軽くもある</p>		<p>2018 年 1 月 10 日～1 月 28 日</p>	<p>C. A. P. 神戸 (特定 非営利活動法人 芸術と計画会議)</p>	
<p>間間-MAMA-</p>		<p>2018 年 3 月 10 日～3 月 25 日</p>	<p>THE TERMINAL KYOTO</p>	
<p>Aspects of Light</p>		<p>2019 年 7 月 20 日～8 月 3 日</p>	<p>成安造形大学【キ ャンパスが美術 館】</p>	
<p>timelake -シングルスクリ ーン/取りまく息を吐く瞬 間-</p>		<p>2019 年 8 月 6 日～2020 年 3 月 28 日</p>	<p>TOOVcafé/galler y, minamo, MOTIF, KanzanGallery, 遊糸洞, The Third Gallery Aya</p>	<p>札幌・香川・東京・大阪のギャラリーを巡回した展 示。</p>
<p>HER/HISTORY</p>		<p>2020 年 1 月 17 日～28 日</p>	<p>岸和田市立自泉 会館</p>	
<p>日日の観察者</p>		<p>2020 年 10 月 24 日～2021 年 1 月 10 日</p>	<p>HOTEL ANTEROOM KYOTO 1 Gallery 9.5 (京都)</p>	
<p>魂の影 Tracing the soul</p>		<p>2021 年 5 月 2 日～10 日</p>	<p>プライベート (東 京)</p>	
<p>群馬青年ビエンナーレ 2021</p>		<p>2021 年 7 月 17 日～8 月 22 日</p>	<p>群馬県立近代美 術館</p>	
<p>受賞歴</p>		<p>2016 年 12 月</p>		
<p>第 4 1 回全国大学版画展 収蔵賞</p>		<p>2017 年 12 月</p>		
<p>第 4 2 回全国大学版画展 優秀賞</p>		<p>2018 年 2 月</p>		
<p>京都市立芸術大学制作展 奨励賞</p>		<p>2018 年 9 月</p>		<p>アートアワードトーキョー丸の内 2018</p>
<p>a. a. t. m. 2018 三菱地所賞</p>		<p>2020 年 1 月</p>		<p>Kyoto Art for Tomorrow 2020 一京都府新鋭選抜展</p>
<p>京都新聞賞</p>				
<p>収蔵</p>				

<p>ロストック独日協会</p> <p>町田市立国際版画美術館</p> <p>批評文</p> <p>到来する外部 ― 松元悠 「血石と蜘蛛」評 著：安井海洋（美術批評家）</p> <p>コロナ禍の前から変わらな ものとは。荒井保洋評「日 観察者」展」 著：荒井保洋（滋賀県立近代 美術館学芸員）</p> <p>ありえないことが在りうる こと/ところについて 著：紺野優希（批評家）</p> <p>掲載</p> <p>ExtrART 14号</p> <p>Meets Regional no.357</p> <p>美術の窓 2019年5月号</p> <p>芸術新潮 2019年5月号</p> <p>シンポジウム報告：「音響メ ア史とサウンド・アート」歴 創造・アーカイブの現在」</p> <p>出演</p> <p>ブレイク前夜</p> <p>学会発表</p> <p>翻 訳</p> <p>辞 典</p> <p>論文査読</p>		<p>2019年4月</p> <p>2021年3月</p> <p>2021年3月</p> <p>2017年</p> <p>2018年</p> <p>2019年</p> <p>2019年</p> <p>2021年</p> <p>2018年5月1日</p>	<p></p> <p></p> <p></p> <p>書苑新社</p> <p>京阪神エルマガ ジン社</p> <p>生活の友社</p> <p>新潮社</p> <p>紀要</p> <p>BS フジテレビ</p>	<p>作品名／人さらいとM 制作年／2014年 サイズ ／100×76cm 素材／リトグラフ、TMKポスター紙</p> <p>作品名／タダライオン 制作年／2016年 サイズ ／100×76cm 素材／リトグラフ、コラグラフ、TMK ポスター紙</p> <p>個展「血石と蜘蛛」展覧会批評文</p> <p>Web版美術手帖レビュー</p> <p>MEDEL GALLERY SHU CONTEMPORARY ART REVIEWS</p> <p>20～26頁に作品掲載。</p> <p>93頁にインタビュー記事掲載。</p> <p>66頁に作家紹介掲載</p> <p>133頁に活蟹に蓋（三菱一号館美術館）展覧会評 掲載。</p> <p>福田裕大准教授（近畿大学国際学部国際学科グロー バル専攻）</p> <p>毎週1人の新人作家を取り上げ、作品、制作風景、 コンセプトなどを紹介する番組。（5分間）</p>
--	--	--	--	--

<u>エッセイ他</u>				
--------------	--	--	--	--